



図書館のマイファーストサポート事業について
Q 事業による図書館利用の効果について伺う。
A この事業は、全ての赤ちゃんと保護者に対して、絵本と触れ合う機会を設けるということが基本的な理念で、平成20年度の絵本の貸出冊数は、3万6621冊借りられている。
事業効果は図書館に親子連れが来館し、図書館の中で絵本を読んだり、遊んだりする傾向が年々増えており、絵本の貸出冊数も2000冊から3000冊と毎年伸びて、マイファーストサポート事業の効果が表れていると考えている。

【特別会計】

《国民健康保険特別会計》
国民健康保険税の滞納状況について
Q 平成20の資格証明書や短期証明書の発行状況について伺う。
A 平成21年6月末現在で、資格証明書は25世帯で、その内12世帯は居所不明のため実数は13世帯である。

《介護保険特別会計》
施設入所の状況について
Q グループホームの利用者数について伺う。
A 入所者は、平成21年2月末現在で94人である。
Q 特養、老健施設等の入所待機状況と保険料の滞納状況について伺う。
A 平成21年の8月末現在で札内の特養が96人、老健あかしやでは32人となっている。
滞納状況は、平成20年度の滞納者は、現年分では65人、金額は還付未済を含めると全部で154万6500円となっている。

《水道事業会計》

水道使用料について
Q 平成19年度と20年度の収納率と給水停止数について伺う。
A 収納率について、平成19年度は、97・82%、平成20年度は、97・85%で、給水停止数は、平成19年度は7件、平成20年度は5件となっている。

平成 20 年度決算歳出額

会 計 名		平成 20 年度決算額	平成 19 年度決算額	対前年度比
一 般 会 計		13,190,717,077 円	14,263,018,063 円	△ 1,072,300,986 円
特 別 会 計	国民健康保険	3,085,345,323 円	3,239,312,586 円	△ 153,967,263 円
	老人保健	299,697,224 円	2,949,253,523 円	△ 2,649,556,299 円
	後期高齢者医療	240,595,161 円	— 円	— 円
	介護保険	1,475,385,496 円	1,410,237,604 円	65,147,892 円
	簡易水道	376,380,159 円	520,255,840 円	△ 143,875,681 円
	公共下水道	1,479,239,060 円	2,189,228,406 円	△ 709,989,346 円
	公共用地	36,121,940 円	36,880,390 円	△ 758,450 円
	個別排水処理	145,629,699 円	153,325,333 円	△ 7,695,634 円
	農業集落排水	86,087,241 円	105,828,777 円	△ 19,741,536 円
	水道事業会計	1,020,363,640 円	1,298,474,622 円	△ 278,110,982 円
	合 計	21,435,562,020 円	26,165,815,144 円	△ 4,730,253,124 円
※町民 1 人当たり		約 783,349 円	約 956,947 円	△ 約 173,598 円



平成 20 年度幕別町各会計決算審査特別委員会が、9 月 17 日、18 日の 2 日間開催され、一般会計から水道事業会計までの 11 会計について、歳入、歳出それぞれ説明後、活発な審議を行いました。
決算審査の過程の中で、各委員の質問の一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

【一般会計歳出】

住基ネットワークシステムについて
Q 利用状況と、今後どのように活用されていくのか、その内容について伺う。
A 平成20年度の住基カードの発行状況は、99枚発行している。活用の方法としては、他町村で住民票の発行ができる広域利用や、写真が掲載されている場合は身分証明書として、公的個人認証を受けた場合は、電子申請などを行うことができるメリットがあると考えられる。
協働のまちづくり支援交付金について
Q 昨年より、件数、金額ともに増えているが、その内容について伺う。
A 平成20年度は、平成19年度より8件増えて188件、金額では40万円ほど増えている。
助成内容は、環境美化運

動や特に最近では公区の防災活動が大変活発になり、その活動に助成している。
十勝圏複合事務組合滞納整理機構について
Q 委託した件数と、回収された金額、委託にあたっての滞納整理機構に引き渡す基本的な考え方について伺う。
A 平成20年度の引き継ぎ件数は17件、金額は約1984万円で、収入した金額は約405万円である。
引き継ぐ基本的な考え方は、大口滞納事案、滞納処分が必要な事案、税の公平姿勢を確保しなければならぬに、納入しない者に対応している。
子育て支援センターについて
Q 子育て支援センターの事業実施内容について伺う。
A 一時保育については、認可保育所の休所日以外、月曜日から土曜日の9時から5時まで、支援事業は、13メニューあり、主なものは、年齢を分けたセンター解放

事業や、対象年齢の幼児と保護者が一緒に遊ぶ事業、父親対象の子育て講座等を行っている。
十勝北西部通年雇用促進協議会について
Q 昨年度の協議会の利用実績について伺う。
A セミナーの開催が、経営者と労働者を対象として年2回。アンケートの実施、相談員の企業訪問を200社実施し、求人情報収集を行っている。活動の成果として5名の方が通年雇用され、当町では1名の方が採用された。
心の教育相談員について
Q どのような相談内容があるのか伺う。
A 相談件数については、平成19年度は120件、平成20年度は118件あり、相談内容は、友人の問題、家庭の問題、あるいは進路の問題、部活の問題や学校関係で、学校の中で直接担任の先生には言いづらいが、心の教育相談員をワークショップにして話をしているというようなケースがある。